

ひろば 大代

平成 2,3,5 大代公民館

卒業を間近に



大代公民館

数々の学び技なりて、月の桂を織り得られたる君達今日の喜びは……

男子三名、女子二名、僅か五名の卒業生ではありましたが学業はもとよりすばらしいクラブ活動、スポーツ活動を通して県下に勇名を馳せ、その存在を輝かせた生徒達、ふり返ってみますと敬老会や文化祭、都市とふるさと交流会など地域にも亦大きく貢献した生徒達でした。

来る3月14日(水)町を挙げてその激励会が開かれます。町内の皆さん!この若者達に万来の拍手を送ってあげて下さい。

去る日行事の連絡を兼ねて生徒の皆さんの一口感想文を依頼致しました。狭い校長室で、机下に光々と電球が輝き、卒業証書が書かれていました。上質な無形文化財「三隅の手すきの和紙」に一字一字丁寧に手書きされた

卒業証書、その一字一字に託された心の願い。

「なんとすばらしい 幸せな生徒達」その日一日が何とも心温まる感動で一杯でした。

- (1) 氏名 (自治会)
- (2) 将来の進路や希望
- (3) 趣味や特技
- (4) 私はこんな大代町にしたい



- (1) 竹間裕一 (八反田)
- (2) 商業系の高校へ進み、将来はコンビニーター関係の仕事に就きたい。
- (3) 機械を扱うこと。
- (4) この大代町を若者が来るような名高い町にしたい。
- (1) 原田政徳 (平)
- (2) 農業関係の高校へ進み、将来はそれを生かした仕事に就きたい。
- (3) 体を動かすこと。
- (4) のどかで静かな町にしたい。
- (1) 山下善博 (柿田)
- (2) 工業系の高校へ進み、将来は自動車やバイクなどの修理関係の仕事に就きたい。
- (3) 模型、車やバイクが好き。

(4) 大代に何か新しい事を取り入れて、発展した町にしたい。

- (1) 武田順子 (山田)
- (2) 商業関係の学校へ進学したい。将来はその学校で勉強した事を生かすことが出来るような職業に就きたい。
- (3) 歌を聴くことと、歌うこと。
- (4) 明るく、活発な町にしたい。それと田植囃子などの郷土芸能を大切にしていきたい。
- (1) 山下春美 (川上)
- (2) 普通高校へ行き、できれば先生になりたい。
- (3) 音楽観賞。
- (4) やっぱり大代はいいと思われるような町にしたい。



卒業生への願い

中学校長 今田善行

大代中学校の沿革誌を繙いた。

開校以来(昭和二十二年十二月)の教職員の勤務年表を作成し、職員室入口の壁に掲示した。この四十二年間で私を含めて十五人の校長、教頭をはじめ百一名の教職員、二十名のPTA会長千二百五十六名の卒業生。大代中学

校を支えてきた歴史がここに凝縮されている。

戦後、中学校創設期、歴史を生み出す様々な労苦があったであろう。昭和五十一年十月九日早暁の火災は、在校生、教職員、地域の皆様に大きな衝撃を与えたであろう。その後のプレハブ校舎は、夏の焦熱地獄、冬の寒の地獄であったろう。昭和五十四年大代分校跡への移転。僅か半世紀にも満たぬ大代中の歴史ではあるが有為転変である。が高山のふもと、三瓶の秀峰が遠望できるすばらしい自然環境は悠久のものである。

この環境が、一人ひとりの生徒のすばらしさを引き出す教育をさせる。

卓球部の大活躍、読書感想文の文部大臣賞受賞、大田・迄摩教育研究大会の公開授業の成功等々の中で実証された。平成元年度のこの大いなる成果は一朝一夕で構築されるものではない。大代中学校四十有余年、千二百有余名の卒業生の着実なひたむきな歩み。百余名の先輩教師のご指導の賜であり大代地区のみなさんのご援助ご協力の結晶である。

小規模校故の問題はあるであろうがこんな素晴らしい中学校は他にない。まさに日本一だと自讃している。校舎や外観の美しい学校は多い。私の言うすばらしさは、中味であり、生徒である。地域と連帯しながら教育が展開され地域を離れた人も、過疎の地に踏みとどまり頑張っておられる人々も一体となり、学校教育に次代を背負う国の宝地域の宝を磨きあげられようとしておられる姿に心うたれるのである。

平成元年度卒業生諸君！

大代の地に育ったことを誇りとせよ。そして、高山を見すえ、大代の大地にしっかりと基盤をすえて、世界に二十一世紀にはばたけ！

君たちは宝だ。だが未だみがかれざる宝だ。「宝の持ちぐされ」とならぬよう、荒波の中でもまれぬき、厳しい試練の中で磨き出され、真に一隅を照らす国の宝、地域の宝として成長していくことを願ってやまない。

4月少年健全育成指標

よその子にも

優しさと厳しさを



「偏見」

渡辺和人

市民意識調査を見ると市民の約六十%に近い人は、結婚差別が存在することを認めています。

憲法二十四条によりますと「結婚は両性の合意のみに基づいて成立し、夫婦が同等の権利を有する」となっており、これはどのような理由があろうとも全ての人に認められなければならないことです。

しかし「部落差別はもうない」「自分は差別はしていない」と言っている人でも「結婚だけは……」と言う人も多いのです。

結婚は二人の合意であるから二人には問題はないと思うのです。市内でも地区の人と地区外の人との婚姻が多く成立しています。結婚がスムーズにいくことは大切な事ですが、結婚ができたからといって差別がなくなつたとはいえませんし、これで問題の根本的な解決にはならないのです。

結婚差別の原因は、結ばれる二人ではなく周囲の親や親戚、さらには近所や社会全体にあります。

差別はしないという人でも社会生活の中で外見や形式でものごとを評価したり、真実をとらえず噂や、いい伝えを確かめもせず信用することが身にしみついでおり、そういう先入観でものごとを見ることを偏見というのです。これは私達すべての人にあるといつてもよいのです。この偏見が取り除かれることによって「結婚の自由」が保障されるのです。

そのためには学校はもちろんのこと家庭、社会で、同和教育が徹底されることにより、人々の偏見を打ちくだき人権尊重の精神のもとに、社会全体の偏見を一掃する努力が大切です。

同和問題を完全に解決するためには「結婚問題さえ解決したら」という事ではなく、結婚をはばむ地域に残っている古い俗信や迷信、例えば「ひのえ生まれ」「大安の結婚式」「家柄」「血筋」など人権尊重を妨げる偏見を取り除くことが大切ではないでしょうか。また日常生活の中で、人の気持をくみ取る心の豊かさ、人との交わりの中で科学的なものの見方や考え方を育てていく事に努めようではありませんか。

火災予防について

大田市消防団大代分団長

中垣昌文

「おとなりへ、あげる安心、火の始末」をスローガンに、去る三月一日から一週間、春の火災予防週間が全国一斉に行われましたが、町民の皆さんには日頃から予防消防の為に協力をお願い厚くお礼申し上げます。

さてこれから春の農繁期を迎え、田の畦や川岸の草焼きをする時期になります。又忙しくなりますと外へ出て働く為に、家を留守にする事が多くなります。出掛ける前には火の始末を充分に行つて下さい。

春の火災予防週間は終わりましたがこれから春の乾燥した火災の起こりやすい時期に入ります。スローガンにあります様に自分の家ばかりでなく、おとなりへ迷惑を掛けない様、お互いに火災予防にご協力を賜ります様お願いを申し上げます。

石見地区

中学一年強化卓球大会

於（江津市体育館）



★男子団体

準優勝！

森田、山根、渡利

（角、竹間、武田、田辺）

★女子団体

準優勝！

竹内、三宅、森、山下

（森田、横田）

★男子シングルス

優勝！ 渡利勝彦

★女子シングルス

3位！ 山下陽子

大田市小学生卓球大会

|| 県下指折りの強さ ||

於（大田市総合体育館）

★男子団体

準優勝！ 大代A

角、竹間、原田

3位！ 大代B

武田、田辺、後藤

★男子シングルス

3位！ 竹間良太

3位！ 後藤克也

★女子団体

優勝！ 大代A

森田、渡、山下

準優勝！ 大代B

横田、三宅、笹木

3位！ 大代C

田辺、角、原田

★女子シングルス

優勝！ 渡 良子

準優勝！ 山下陽子

3位！ 森田才恵

よく頑張りましたね。

春の花 (その一)

下市 田辺 孝



冷たい風から身を守るようにしていた草花のかたいつぼみが、ひと雨ごとにふくらみはじめると、春の訪れもすぐそこまで来ています。柔らかな土の香りをのせてパンジーやデージー、水仙が早春の花壇を彩るとき、空気はひんやりと肌をさしても、そこだけはもう春なのです。それまで冬の寒さにじっと耐えていた自然が目をさまして、活動を始める春の到来です。

しだいに吹く風もやわらぎ暖かな陽ざしが大地に祝福を与えると、花たちはその美しさを競い合うかのように一

斉に咲き始めます。チューリップ・キンセンカ・スイートアリッサム・マーガレットなどの草花が、また桜やこぼしなどの花木が、人々の目をとらえ、その柔らかな花色で心をなごませてくれます。

道行く人の顔がみな優しく満足そうに見えるのは、久しく春を待ち望んでいたせいかもしれません。

俳句

あすなる句会



梅が枝に

珠宿らせて雨あがる

渡 あやこ

枯木焼く

煙弥生の空高く

一枚を

脱ぎては重ね 春寒し

武田島子

満天の

星座動かず 2月 尽

柿丸寿枝

春めくと

玩具の猿が 胸叩く

菊根分け

道行く人にも 声をかけ

横手一 枝

黒土を

負い上ぐ力 黄水仙

尾崎三枝子

日脚伸び

日記に偲ぶ 去年の事

安全運転のために

★シートベルト



シートベルトは衝突事故の後、
“第二の衝突” “第三の衝突”を防ぐ為に最善の防止用具です。非常に大きな力が加わりますので正しく着用してください。

★こんなときには

車を運転している際、“目がシヨボシヨボしてまぶたが下がってくる” “肩が凝る” “腕がだるくなる” “背中から腰が重い” などの状態に気がついたら、直ちに安全な場所へ駐車し休息をとってください。

おしらせ

◆社協大代支部から

大代町弓久 松島賢蔵様より

香典返しに替えて金一封の御寄付を頂きました。厚く御礼を申し上げます

◆公民館から

東京石見高山会様より

金一封のご寄付を頂きました。